

学 年

中・高

動物の名前を使った慣用句 1

年 組 名前

1 次の慣用句があらわす意味を、国語辞典や本で調べて書きましよう。

慣用句	意味
うなぎのねどこ	
馬が合う	
虫がいい	
さばを読む	
すずめのなみだ	

2 1で調べた慣用句の中から一つ選んで、文を作りましよう。

学 年

中・高

動物の名前をつかった慣用句 1

年 組 名前

1 次の慣用句があらわす意味を、国語辞典や本で調べて書きましょう。

慣用句	意味
うなぎのねどこ	細くて長い場所のこと。
馬が合う	気が合う。
虫がいい	自分のつごうだけしか考えないようす。
さばを読む	数をごまかして言う。
すずめのなみだ	ほんのわずかであることのたとえ。

2 1で調べた慣用句の中から一つ選んで、文を作りましょう。

たろうさんと、まさしさんは、馬が合うようだ。

学 年

中・高

動物の名前をつかった慣用句 2

年 組 名前

1 次の慣用句があらわす意味を、国語辞典や本で調べて書きましょう。

慣用句	意味
かの鳴くような声	
ねこのひたい	
つるの一声	
くもの子をちらすよう	
はちの巣をつついたよう	

2 1で調べた慣用句の中から一つ選んで、文を作りましょう。

学 年

中・高

動物の名前をつかった慣用句 2

1

次の慣用句があらわす意味を、国語辞典や本で調べて書きましょう。

慣用句	意味
かの鳴くような声	非常に小さな声。
ねこのひたい	ひじょうにせまい場所。
つるの一声	実力のある人のひと言で、全部決まってしまうことのたとえ。
くもの子をちらすよう	大勢の人が、四方にぱつとにげるようす。
はちの巣をつついたよう	急におおさわぎになるようす。

2

1で調べた慣用句の中から一つ選んで、文を作りましょう。

わたしは、ふだんは大声で話しているのに、授業中あてられたときはいつもかのなくような声になってしまう。

学 年

中・高

動物の名前をつかった慣用句 3

年 組 名前

1 次の慣用句があらわす意味を、国語辞典や本で調べて書きましよう。

慣用句	意味
犬のおぼえ	
ねこをかぶる	
いの中のかわず	
とらの子	
とんびにあぶらげをさらわれる	

2 1で調べた慣用句の中から一つ選んで、文を作りましよう。

学 年

中・高

動物の名前をつかった慣用句 3

年 組 名前

1 次の慣用句があらわす意味を、国語辞典や本で調べて書きましょう。

慣用句	意味
犬のおぼえ	おくびようなものが、かげでいばったり、ほかの人を悪くいったりすること。
ねこをかぶる	ほんとうの性質をかくして、おとなしく見せかける。
いの中のかわず	広い世の中のことを知らずに、考えがせまい人のたとえ。世間知らず。
とらの子	大切にされていて手ばなせないもの。
とんびにあぶらげをさらわれる	だいじな物を、ふいに横あいからうばわれること。

2 1で調べた慣用句の中から一つ選んで、文を作りましょう。

いの中のかわずにならないように、ぼくはいろいろな人と交流したい。